

国立歴史民俗博物館蔵 伊能図（秋岡コレクション）について

二、寛政二二年小図 二〇五×一三六センチ

右下隅に「享和元辛酉歳五月今井政太郎之を写す」とあり、隣に黒度は是、朱之度誤り」と記す。経緯線が赤黒二種引いてあり、赤は間違いといっている。おもうに、はじめから朱で経緯線を引くとは思われないから、黒の線が間違いとして、朱で訂正してみたが、やはり黒でよいと訂正したのではなからうか。

このあたりは、伊能図として問題の部分だから十分な検討を要するが、写した人は天文測量の関係者ではないかと思わせる記事である。旧蔵者の秋岡氏はこのことに触れていない。

描図は粗で、他の写図のような繊細さはない。蝦夷地の彩色に紫が強い。また、蝦夷地では測線の間には宿駅の印を缺んでいる。奥州街道では宿駅、城下の表示を測線の傍らに記すが、フリーハンドで描く。字は大きく上手ではない。コンパスローズは他の図に見られない簡略なものである。

本図は、関係者が自分の覚えのために模写したような感じで、保存目的あるいは命令でおこなわれたものではないようである。

三、伊能中図 中四国の部 二〇二、五×一五二センチ

左縁の部分の一部が滅失している。周辺には汚れが多い。元は折本だったものを軸装している。秋岡蔵書の印の他に記録はない。写本。針穴はない。方位線はあるが、経緯線はない。コンパスローズもない。緑の色調は国土地理院の図に同じである。国名、郡名には枠がない。

国界、郡界の記号、宿駅、社寺、城下、天測点の記号も見当たらない。地名は細字で書き込むが、あまり達筆ではない。全体として完成度は高くないが、文政4年中図の現存数は多くはないので貴重である。

四、寛政一二年大図 大田原付近 一二五×一九四センチ

大田原近くの街道を朱の測線がはしっている。街道筋に並木、家並みを絵画的に描き、田畑の田園風景を書き加える。大田原の城と城下の風景も見られる。写本。針穴はない。裏打ち済み。

領分境、宿駅、天測点の記入がある。その他の記号は見られない。方位線、経緯線はない。緑色は青味が強いが、彩色は鮮明である。地名は岡山付近の大図と同様な大きな文字で書き込む。汚れ、虫食いが少しあるが目立たない。

五、寛政一二年大図 福島より須賀川付近 一二四×一九四センチ

大田原付近と同系統の描図。写本。針穴はない。領主名、宿駅、天測地点と沿道風景を描く。郡界は、○●郡・△△郡境と文字で示す。文字は大きめ、傷みはひどくない。方位線、経緯線はない。コンパスローズが多く六個もある。左下隅に「第五六陸奥」とある。元折本。裏打ち済み。

六、文政四年大図 明石 一二三×一五七センチ

やや退色があるが鮮明で、美麗。彩色は淡彩。針穴はない。写本。来歴を推測できるような書き込みはない。朱の測線に沿って、地名、宿駅○、天測地点☆、湊♣、神社ハ、寺院△、田園風景(森、田畑)を描く。方位線、経緯線はない。国名、国界、郡名、郡界もない。また、明石、岸和田等城下には城の景観を墨絵的に描くが、領主名はな

い。河川は川幅を持たせて、小河川まで丁寧に描く。山景はグレーがかった緑。地名の文字は細かい。

七、文政四年大図 信州・飯山辺り 一四五×一二四センチ

明石の大図とは別系統の図。緑色が東博中図と同じで、濃い彩色。地名の文字が大形で地図のなかで目立つ。領主名を記入。城下では城の絵が目立つ。経緯線、方位線はない。針穴のない写本。宿駅の○印がやや大きく、天測地点☆の記入がある。沿道風景を田園風に描く。沿道に見える主要な山岳をリアルに描写し、山腹には樹木を配し、個々の山名も記す。国名、郡名はない。虫食い、汚れがある。元折本。裏打ち済み。

八、文政四年大図 児島湾 西大寺 一二五×一八五センチ

飯山の大図より文字はさらに大形で、景観を達筆な文字が覆う感じがする。天測地点☆、宿駅○の表示があり、ほとんどが池田藩領だが、他の領主名も見られる。緑色は明石図と飯山図の中間的で、東博中図より若干黄味が少ない。沿道風景描写は他図に同じ。三枚の大図のうちでは、最も彩色バランスが良い。写本。針穴はない。虫、傷は少ない。経緯線、方位線、国界、郡界はない。元折本。裏打ち済み。

九、江戸府内図 (南部) 二〇二×三一五センチ

写本。針穴はない。汚れ、カビの跡が多い。特に周辺部は良くない。退色も進んでいる。地図自体は江戸図の形式を備え、文字も良い。丁寧に制作されたもの。保管が悪かったのは残念である。裏打ち済み。(九五、九、二一、調査)